



# 2024年4月期 第2四半期決算説明会資料



JQA-QMA16212



MS  
CM009

2023年12月15日  
インスペック株式会社



(証券コード：6656)

**第1部 2024年4月期第2四半期決算概況**

**第2部 中期経営計画**

**Vision 2030にむけた第一次中期経営計画（2025/4期～2027/4期）**

An aerial view of a modern, light-colored industrial or office building with a flat roof. The building has large windows and a prominent entrance on the right side. The word "inspec" is visible on the left side of the building. The building is surrounded by a paved area and some greenery. In the background, there are other buildings and a large, forested mountain range under a clear sky.

inspec

# 第1部 2024年4月期第2四半期決算概況

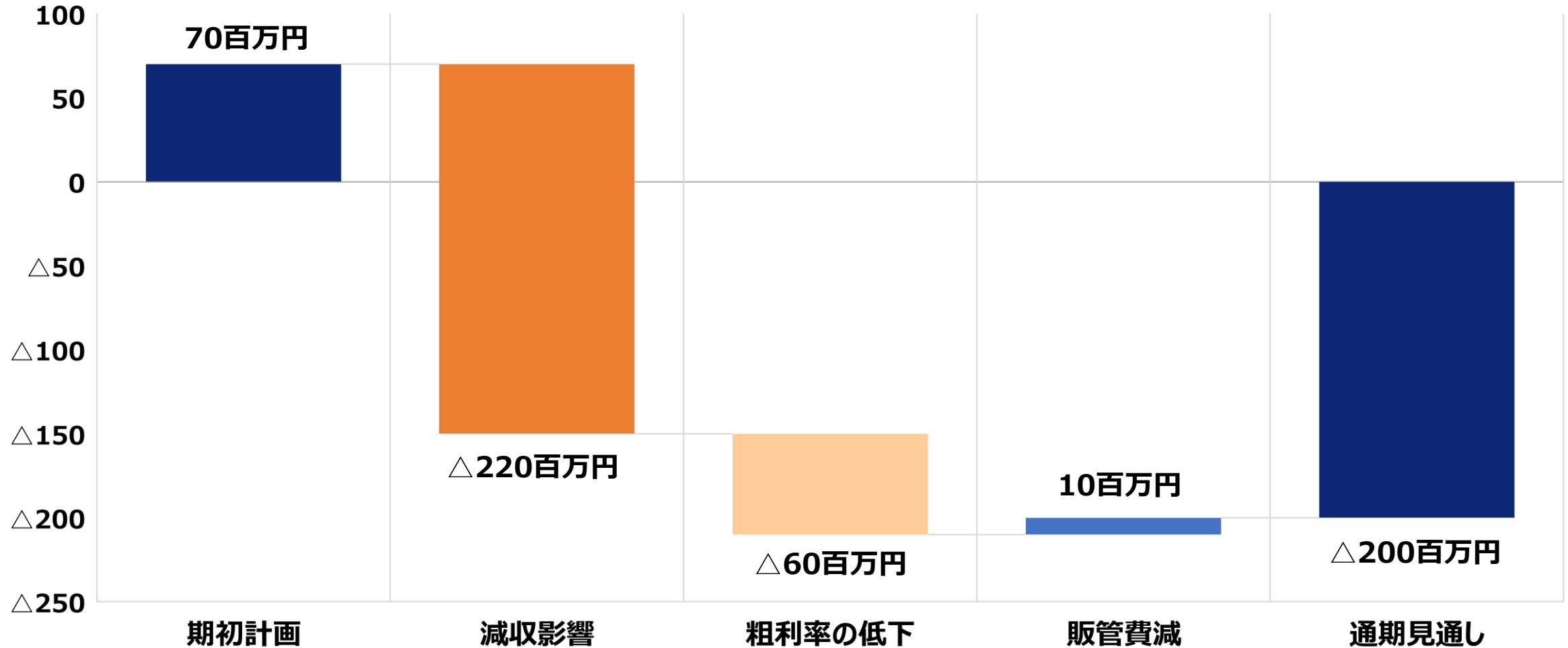
- ・PCやスマートフォンなどの半導体需要減少の影響を受け、当期は厳しい市場環境
- ・顧客の設備投資計画が一旦立ち止まっているものの、中長期的な計画は変更がなく、年明け以降の受注獲得を目指す

(単位：百万円)

	業績修正	期初公表値	増減	増減率
売上高	<b>1,730</b>	<b>2,300</b>	<b>△570</b>	<b>△24.8%</b>
営業利益	<b>△200</b>	<b>70</b>	<b>△270</b>	<b>—</b>
経常利益	<b>△200</b>	<b>40</b>	<b>△240</b>	<b>—</b>
当期純利益	<b>△210</b>	<b>30</b>	<b>△240</b>	<b>—</b>

## 営業利益の増減要因（期初計画比）

（単位：百万円）



## 当社の現在の取り組み及び今後の展開について

- **基板検査装置事業**
  - ・次世代及び次々世代の半導体パッケージ基板向けの**ウルトラファインAOIの開発**
- **露光装置事業**
  - ・両面FPC向け露光装置の**量産化に向けた体制の構築**及び販売・サポート体制の構築
- **海外拠点強化**
  - ・最新デモ機を常設して販売・サポート体制を強化するため、**台湾子会社を移転**
- **海外販売展開**
  - ・代理店と連携し、**タイ・ベトナムをターゲットとした東南アジア地域**での営業活動の展開
- **設備投資計画**
  - ・受注増加に対応するため、来期中の**本社工場の増築を計画**

- ・国内市場は、顧客の設備投資計画が後ろ倒しになったことが影響し、製品の納入時期が下期にずれ込む
- ・海外市場は、中国経済減速の影響を受け、中国向け案件が後ろ倒しにずれ込む

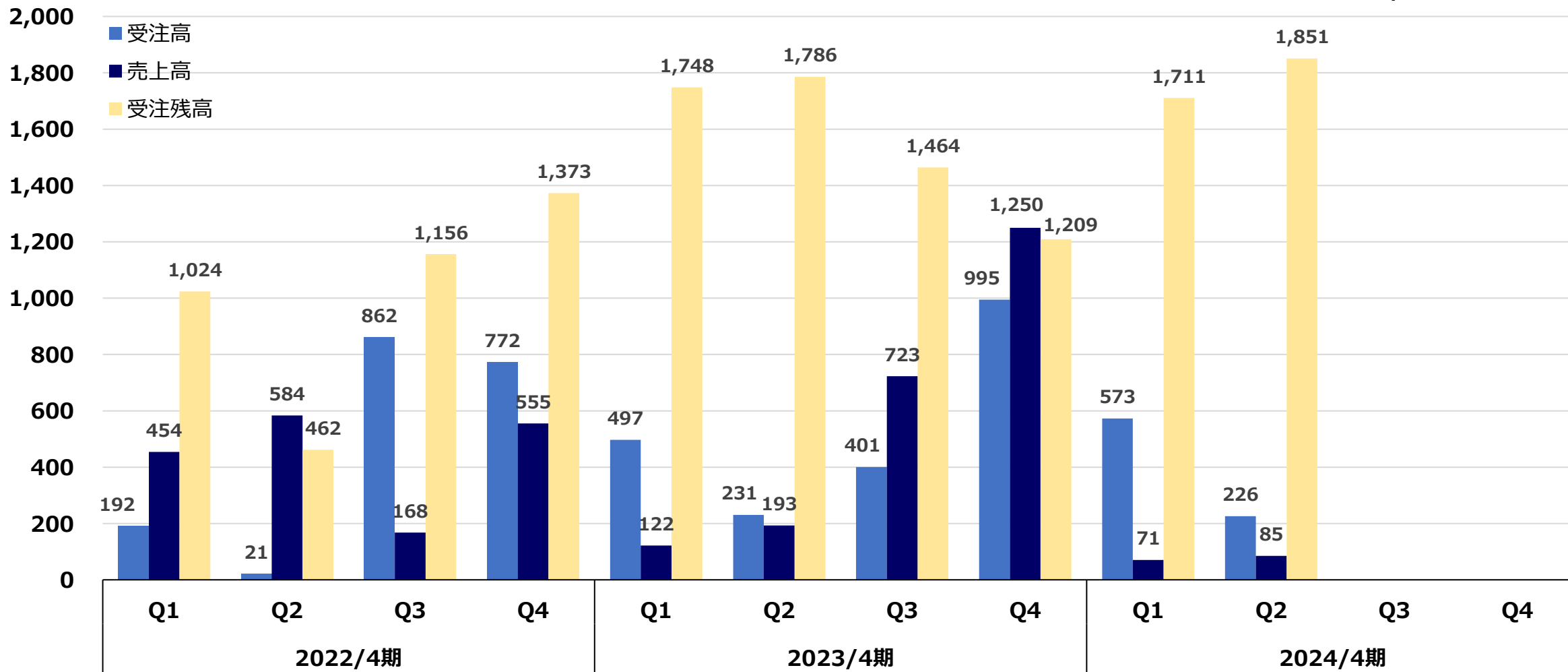
(単位：百万円)

	2024年4月期 第2四半期	2023年4月期 第2四半期	前期比	増減率	2024年4月期 業績修正
売上高	<b>156</b>	<b>316</b>	△159	△50.5%	<b>1,730</b>
営業利益	△ <b>340</b>	△248	△91	—	△200
経常利益	△ <b>354</b>	△259	△94	—	△200
当期純利益	△ <b>363</b>	△258	△105	—	△210

## 四半期毎の推移

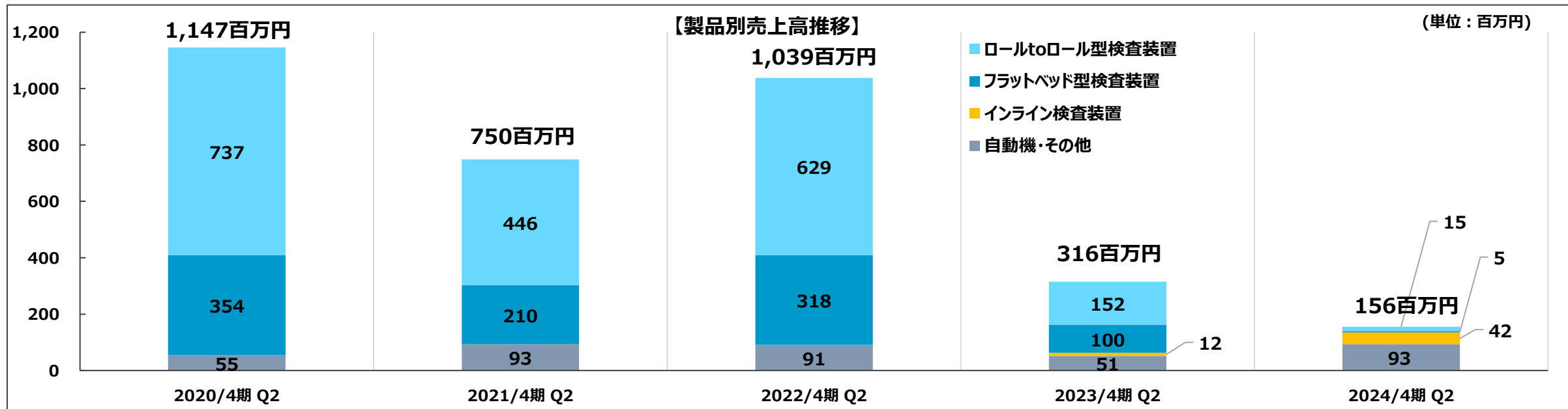
(単位：百万円)

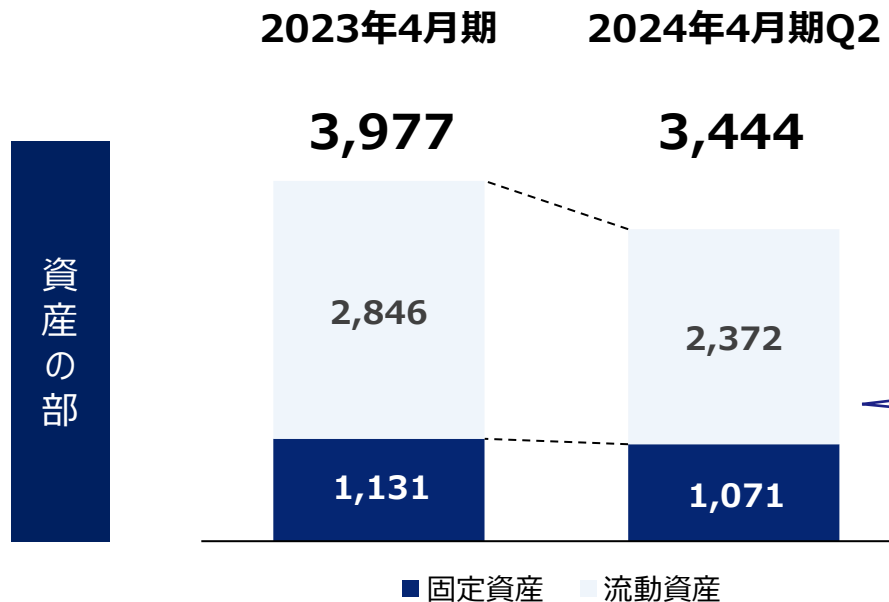
Q2受注残高  
：1,851百万円





	2024年4月期Q2		2023年4月期Q2		前年同期比 増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高合計	156	100.0%	316	100.0%	△50.5%
■ ロールtoロール型検査装置	15	10.0%	152	48.2%	△89.7%
■ フラットベッド型検査装置	5	3.8%	100	31.8%	△94.1%
■ インライン検査装置	42	26.8%	12	3.9%	236.0%
■ 自動機・その他	93	59.4%	51	16.1%	82.2%

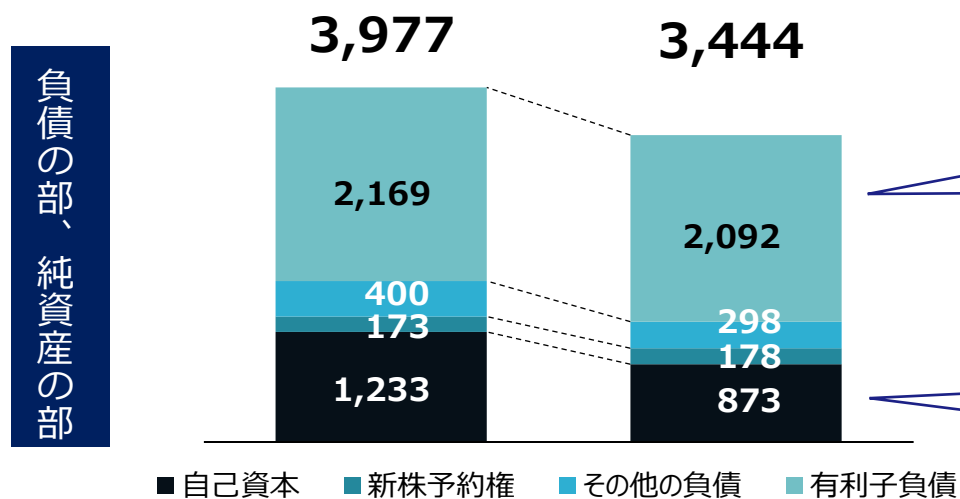




	2023年4月期	2024年4月期Q2
自己資本	1,233百万円	873百万円
自己資本比率	31.0%	25.4%

【主な増減要因】

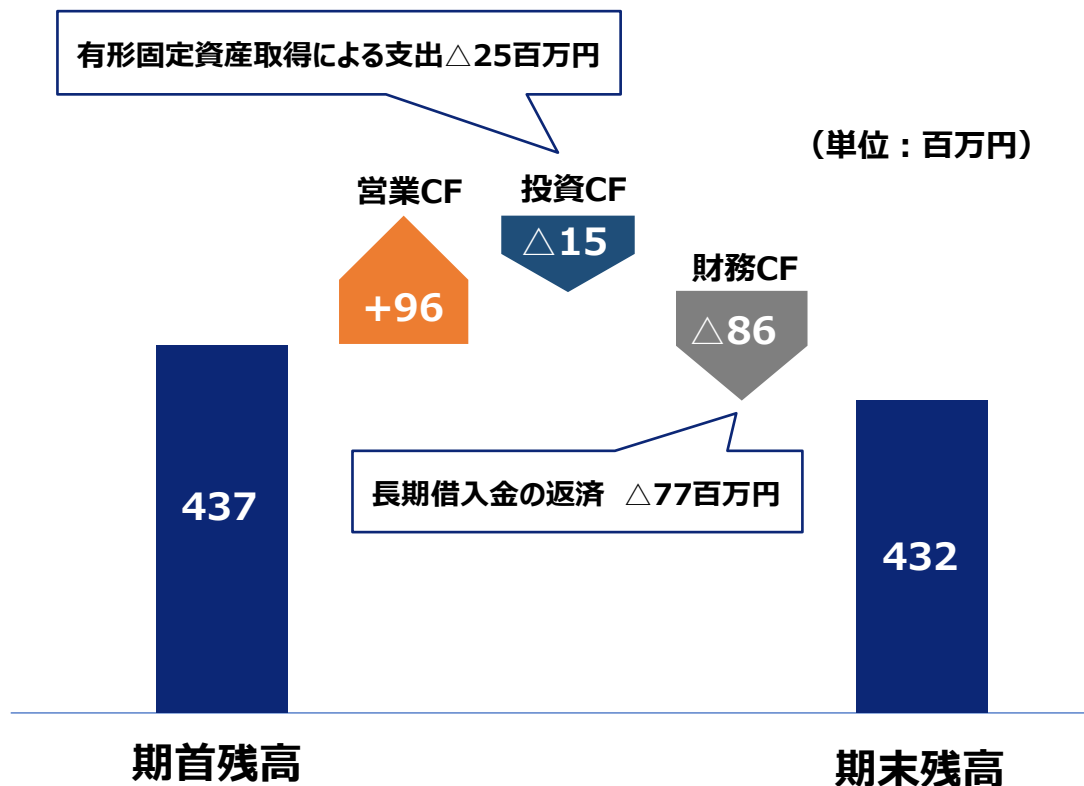
売上債権：1,280百万円減少  
仕掛品：742百万円増加



長期借入金：77百万円減少

四半期純損失の計上：363百万円

## 現金及び現金同等物 4百万円の減少



	2023年4月期 Q2	2024年4月期 Q2
期首現金及び現金同等物残高	558	437
営業活動によるキャッシュ・フロー	△522	96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118	△15
フリーキャッシュ・フロー	△641	81
財務活動によるキャッシュ・フロー	530	△86
現金及び現金同等に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額（減少△）	△111	△4
期末現金及び現金同等物残高	447	432

	2024年4月期Q2		2023年4月期Q2		対前年 増減率
	金額（百万円）	対売上比	金額（百万円）	対売上比	
基板検査装置事業	101	64.7%	99	31.4%	2.0%
露光装置事業	108	N/A	47	N/A	129.4%
合 計	209	133.7%	146	46.3%	43.0%

- **基板検査装置事業（半導体パッケージ基板検査装置・FPC検査装置）**
  - ・次世代及び次々世代の半導体パッケージ基板向けのウルトラファインAOIの開発
  - ・AIを活用した欠陥分類システムの開発
- **露光装置事業（ロールtoロール型シームレス直描露光装置）**
  - ・ロールtoロール型シームレス直描露光装置の次世代モデルの開発

A 3D bar chart with a green line graph overlaid, showing an overall upward trend. The bars are white and the line is a vibrant green. The background is a light, neutral color.

## 第2部 中期経営計画

**Vision 2030にむけた第一次中期経営計画 (2025/4期~2027/4期)**

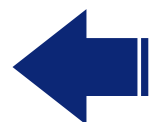
- ・2022年6月14日 2023年4月期を初年度とした中期経営計画を公表  
2025年4月期までに達成すべき目標  
「売上高成長率20%以上、営業利益15%以上、海外売上高比率50%以上、自己資本比率35%以上」

2023年4月期の業績は、ほぼ予想通りの経営成績

パソコンやスマートフォンの世界出荷台数が減少

2024年4月期は厳しい市場環境を想定

**2024年4月期業績予想を下方修正**



半導体市場の悪化

- ・主要取引先各社が業績予想の下方修正
- ・半導体工場の生産減少、新規工場の稼働延期

## 中期経営計画の見直し

インスペック2.0

インスペック Vision 2030

シン・インスペック2.0

Vision 2030 GOAL

創成期

前期

当期

第一次中期経営計画

第二次中期経営計画

～2022年4月期

2023年4月期

2024年4月期

2025年4月期 ～ 2027年4月期

2028年4月期 ～ 2030年4月期

## 確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り拓く

社員が幸せになれる会社、そしてその先の誰もが輝き心豊かに生きることが出来る社会を目指して

### 確かな技術



当社は、検査装置メーカーとして必要とされる**画像処理技術**はもとより、**光学センシング技術**、**制御技術**、**精密機械技術**において、世界トップレベルの技術を磨き上げてきました。また、近年は露光装置を開発する課程で**レーザー技術**を新たに獲得しました。これらの高度な技術を最大限に活かし、インスペックのミッションを推進していきます。

### 切り拓く

インスペックは自社が持つ**技術・ノウハウ**を駆使して、**まだ見ぬ明日へチャレンジし続けます。**

### あくなき挑戦



新しい物を生み出すことへの挑戦、ひたすらロボットを開発しロボットメーカーを目指した挑戦、液晶TFTアレイ検査装置事業を柱とするべく最高性能の装置を開発した、業界のガリバーへの挑戦、いずれもビジネスとして花を咲かせることが出来ずに大きな損失を経験してきました。しかしその経験から多くのことを学ぶとともにかげいのない技術や数々の得難いノウハウを積み重ね、今日のインスペックがあります。

いつのときも、果敢な挑戦が新しい道を開いてきました。

「**挑戦こそが未来への唯一の扉**」です。

### 創造社会



出典：経団連

創造社会とは、「**誰もが輝き心豊かに生きることが出来る社会**」とあります。

創造社会の実現に貢献するためには、何よりも第一にインスペックの社員が幸せにならなければなりません。

「**社員が幸せになれる会社**」への取り組みこそが**創造社会の実現への取り組み**であり、まさにそのことが**インスペックの存在意義**です。

**Mission** 変化を先取りし、革新的な製品を生み出す

今日の社会は人類が経験したことのない速さで変化が進んでいます  
私たちはこの変化を見据え、その先のニーズを先取りした優れた製品を提供します

**Vision** 既存事業と新事業による成長の持続と稼ぐ力の向上で企業価値の拡大を図る

2025年4月期～2027年4月期

2028年4月期～2030年4月期

## シン・インスペック2.0

基板検査装置事業

露光装置事業

新規事業

・進化が加速する微細化・高機能化への対応  
・EVを主力としたFPC検査市場へ注力

・車載FPC用シェア拡大  
・両面同時露光・長尺の強みを生かした販促強化  
・ハイエンドクラスのスマートフォン市場向けへ進化

・M&Aを視野に将来性のある第三の柱を検討

・台湾、東南アジアへの販促強化

## Vision 2030 GOAL

売上高 100億円

営業利益 20億円

成長

売上高成長率 30%以上

営業利益率 20%以上

稼ぐ力

ROIC 10%以上

ROE 20%以上



## 勇気と挑戦

失敗を恐れぬ挑戦と、  
たゆまぬ努力が開く未来への扉

## 信頼と感謝

信頼と感謝が築く、  
豊かで限りなき共生の輪

## 学びと成長

ものづくりは人づくり、  
学びと成長はエンドレス

## 行動指針

インスペクパーパスの実現

**確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り拓く**

**1** 高い競争力を持つ最先端の製品を開発し、業界をリードする

**2** 粗利率40%以上の高収益体質を再構築する

**3** アジアを中心としたグローバル市場の進出を拡大する

**4** 人的資本に積極投資し、持続的成長を支える組織力を強化する

**5** 働きがいが生み出す力で、社会の繁栄と発展に貢献する

## マクロ経済

- ・地政学的リスクの高まり
- ・先進国の少子高齢化による人手不足
- ・新興国の経済成長率拡大
- ・IoT・AIをはじめとするDX推進の加速
- ・自動車産業の技術革新（CASE）
- ・サステナビリティに対する世界的な危機感の高まり  
SDGs・カーボンニュートラル・ESG

## 半導体・FPC市場

- ・シリコンサイクルからスーパーサイクルへ
- ・EV市場の急速な成長
- ・中国から東南アジアへ半導体市場のシフト
- ・生成AIが牽引する更なる微細化・高密度化
- ・CASE対応への新たな価値創造

## 事業環境

**半導体・FPC市場は、  
今後も高い成長率で拡大**

- ・半導体・FPC検査の高度化対応
- ・FPC生産装置領域へ進出

## 持続的成長と企業価値創造

2025年4月期

2026年4月期

2027年4月期

AIサーバーやクラウドコンピューティングの普及を背景に、次世代CPU・GPUなどのハイエンドデバイスにおけるチップレット化で、より高機能化する半導体パッケージングへ対応する検査装置を開発

微細化への対応L/S=1/1 $\mu$ m

ガラス基板等への応用

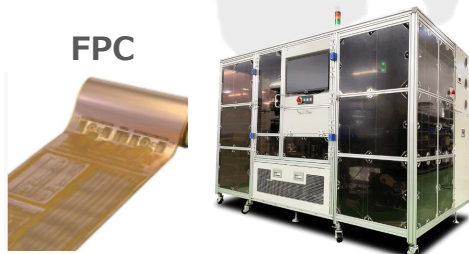
基板パッケージサイズ大型化に対応するスループットの向上



AI機能付両面全自動検査装置  
イメージ図

全自動化システムの更なる進化

世界中で加速するEVの基幹部品であるBMSには、軽量化を目的にFPCの使用が急拡大



ロールtoロール型FPC検査装置  
『RA7400』

FPCをロール状のまま超高速検査を実現した当社の主力製品を更に進化

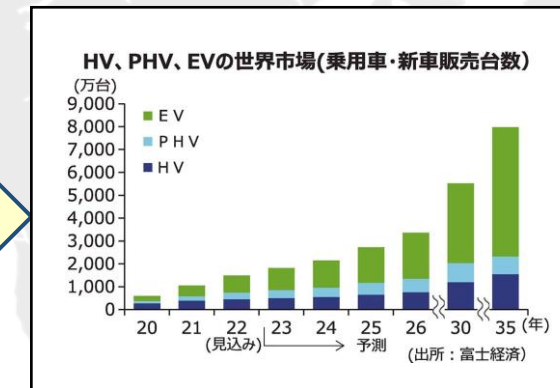
2025年4月期

2026年4月期

2027年4月期

グローバルに成長するEV市場に向け、車載FPC用露光装置のシェアを拡大し、微細化・スループット向上の対応により、多種多様なFPC市場へ進出

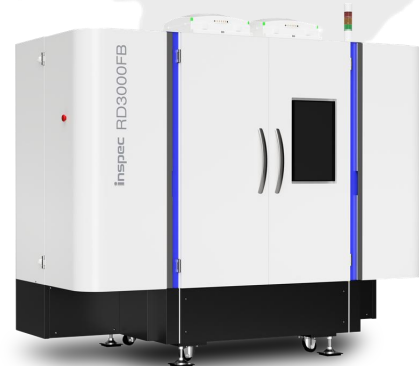
EV市場の拡大により車載FPCの需要増



航空宇宙産業、医療等、新たなFPC市場へ

国内直販/中国代理店

東南アジア/北米/欧州へ展開



ロールtoロール型シームレス  
両面同時直描露光装置  
『RD3000FB』

L/S=50/50μm

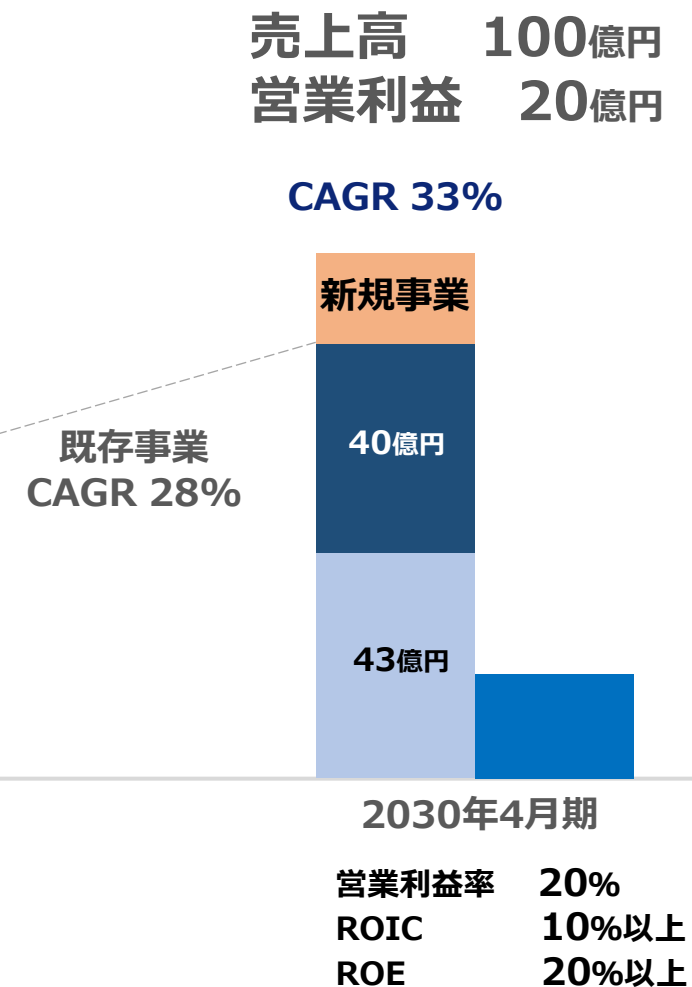
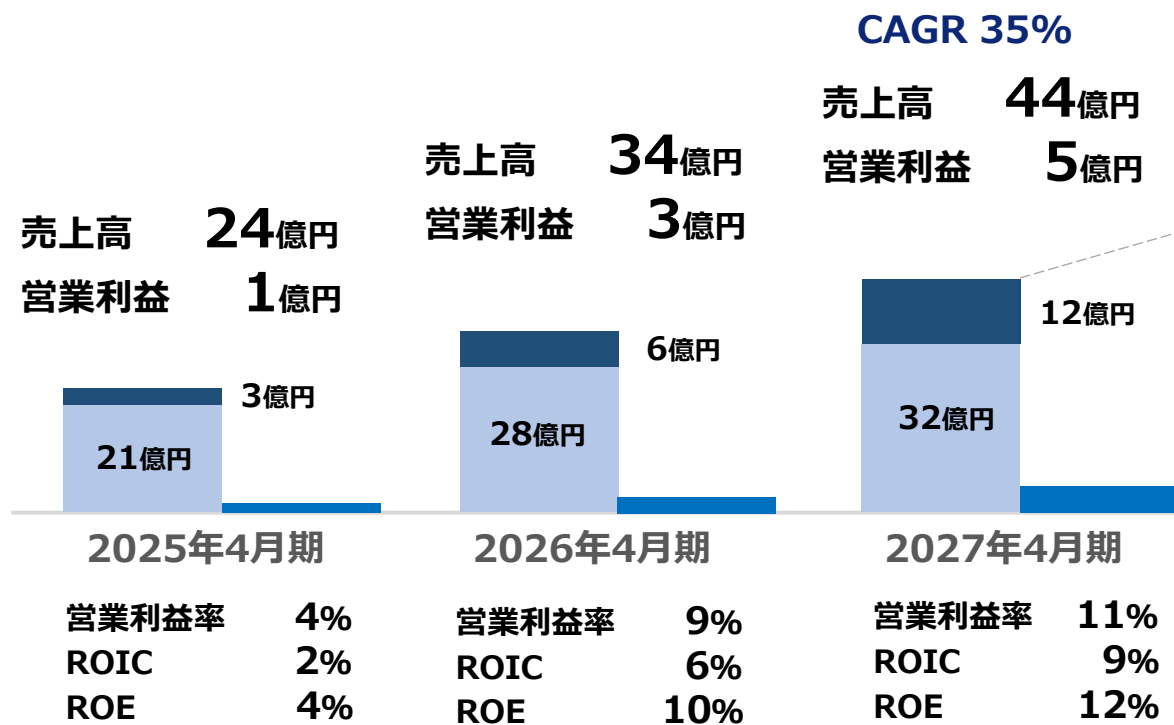
微細化への対応 L/S=30/30μm

他波長光源開発によるスループット向上

## Vision 2030 GOAL

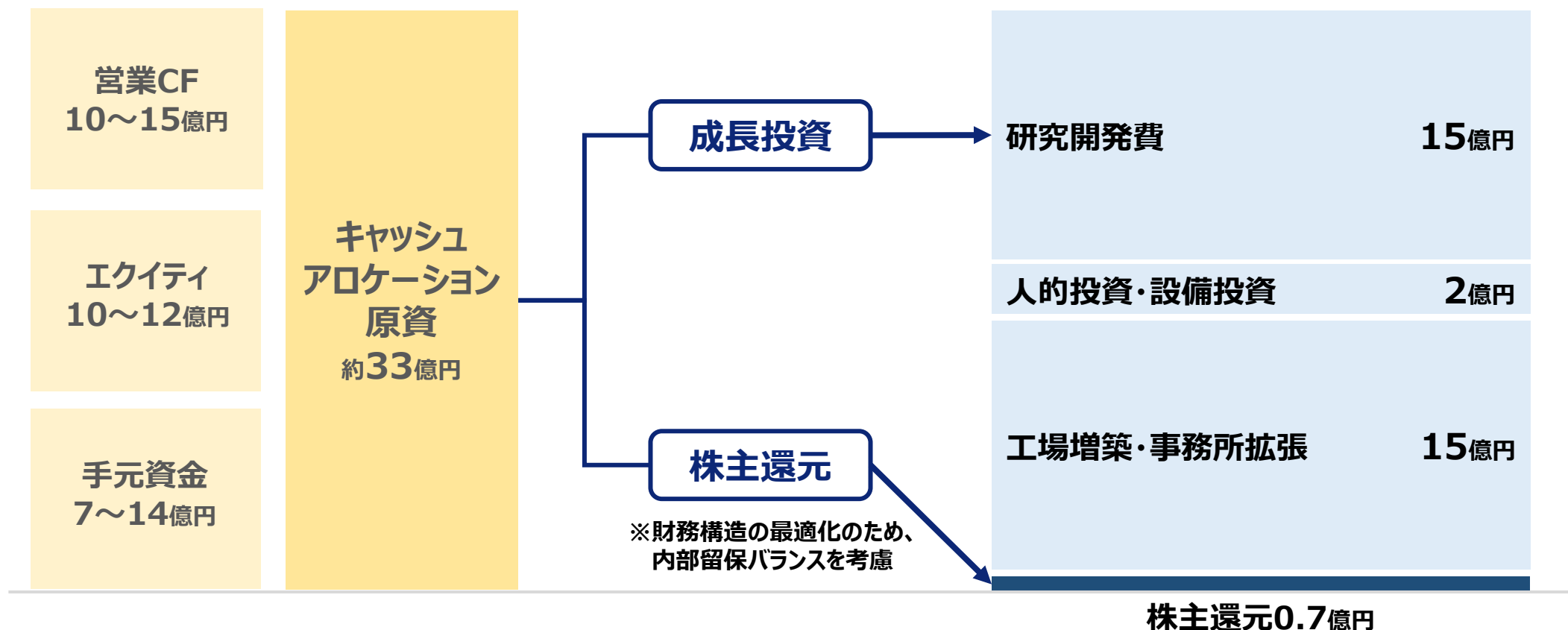
- 基板検査装置事業
- 露光装置事業
- 営業利益

当社推定  
 WACC 5.1~5.6%  
 株主資本コスト 6.3~7.0%



第一次中期経営計画 3年累計の営業キャッシュ・フロー、発行済新株予約権（期限2026年4月）及び手元資金で成長投資に32億円、株主還元（配当）に0.7億円※を計画

■ 資金配分計画（2025年4月期～2027年4月期）



## 人的資本に積極投資し、持続的成長を支える組織力を強化する

新人事制度の導入（2023年5月1日～）

・社員の働きがいの向上を目指し、個が輝く人事制度を構築

新たな人事評価制度

教育研修制度の充実

多様な働き方の支援

ダイバーシティ採用へ

- ・地元採用による地域リレーション維持
- ・リモートワークを前提とした採用
- ・グローバル市場進出拡大に応じた多様な人材の採用

従業員エンゲージメントの向上

企業価値向上

IR・PR強化

知名度・認知度向上



## CG基本方針

当社は、経営の透明性の向上とコンプライアンスを徹底するため、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組んでおります。今後も企業価値を継続的に高めていくため、経営上の組織体制や仕組みを整備し、必要な施策を実施していくことを経営上の最も重要な課題のひとつと位置づけております。

### ● 取締役会の機能強化

- ・公正かつ透明性の高い情報開示
- ・定期的な取締役会実効性評価の実施と評価結果の活用
- ・独立社外取締役の増員検討
- ・取締役・監査役のトレーニング（方針の策定と教育・研修プログラムの検討）

### ● 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応【東証要請】

- ・財務構造の最適化
- ・成長戦略及び配当政策の策定（第一次中期経営計画）
- ・株主や投資家とのコミュニケーションの強化

当社は、パーパス「確かな技術とあくなき挑戦で、創造社会を切り拓く」を通じて、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

### 活力ある職場づくり

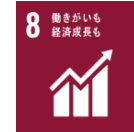
### 交流・能力開発・仕事と生活の調和によって働きがいのある職場づくり



- 支援学校実習受け入れ
- インターンシップ受け入れ



- 女性社員の雇用・活躍の推進
- 出産・育児・介護休暇の取得推進



- 有給休暇取得推進
- 外部研修の実施

### 社会貢献活動

### 地域社会をはじめとした社会貢献活動を推進



- 開発途上国にワクチン提供支援 (ペットボトルキャップ・古着回収)
- 社内献血活動



- 角館武家屋敷清掃活動
- 地元災害ボランティアへの登録



- フードロス対策自販機の社内設置
- 社内空調にガスエアコンを使用
- 照明のLEDライト化



- あきたSDGsパートナー登録
- 地元スポーツ団体への協賛

### 技術開発

### 検査装置・露光装置の開発を通じて技術革新に貢献



- 検査装置・露光装置による生産性向上への貢献
- 欠陥自動分類技術による人手不足解消への貢献
- 電気自動車等のクリーンエネルギー技術発展への貢献



## 半導体パッケージ基板向けAOI『SX5600』

- インспек基板AOIのフラッグシップモデル
- 最先端の超高精細基板に対応
- クラス最速レベルの生産性を実現



## ロールtoロール型FPC検査装置『RA7400』

- ノンストップで高スループットと長尺対応の実現
- ベリファイレスをサポートする自動分類機能搭載
- コンパクトな外形



## ロールtoロール型シームレス 両面同時直描露光装置『RD3000FB』

- 世界初の両面同時長尺シームレス露光を実現
- 両面同時露光で生産性が2倍
- クラス最小レベルの設置面積

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。  
本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。  
本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。  
本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。